



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介
問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	45,215	0.9	302	△26.6	686	△3.2	676	65.9
2024年3月期第3四半期	44,798	△5.4	411	△15.7	708	△16.1	408	△17.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 443百万円(△52.3%) 2024年3月期第3四半期 928百万円(86.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	118.28	—
2024年3月期第3四半期	71.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	42,807	19,540	44.9
2024年3月期	41,619	19,417	45.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 19,225百万円 2024年3月期 19,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年3月期	—	25.00	—		
2025年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,855	5.3	1,162	44.2	1,591	26.3	878	23.7	153.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	6,100,503株	2024年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	387,369株	2024年3月期	369,569株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	5,723,166株	2024年3月期3Q	5,744,356株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が進む一方で、円安の長期化や原材料価格の高騰による物価高の影響から節約志向が高まり、個人消費は低調に推移しました。また、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の不安定化等によるエネルギー価格の高止まりが続いており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する営業活動を強化し、燃料油やL P ガスの販売シェア拡大を図るとともに、その他の事業についても、「既存事業の強化」と「新規事業の開拓」を目的に、新店舗出店や店舗リニューアルに加え、業態変更による新規事業の導入を進めるなど、多様な消費者ニーズの変化に対応した店づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、エネルギー関連商品の販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は452億15百万円（前年同四半期比0.9%増）となりましたが、新規事業出店費用の発生や人件費の増加等により、経常利益は6億86百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有していた株式の売却益や税金費用の減少により、6億76百万円（前年同四半期比65.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した営業活動に加え、S S 事業において販促アプリを活用したイベント告知やクーポン配布等を行うことで来店動機の促進を図りました。また、社員のスキルアップと営業力強化を目的とした研修会を実施し、油外商材の拡販と接客サービスの向上に努めております。一方で、設備の老朽化と採算の悪化により、都城中原S S（宮崎県都城市）を2024年7月末に、七ツ島S S（鹿児島市）を2024年9月末で閉店いたしました。

ガス部門では、共納先のシェアアップを強化し、L P ガスの増販を図るとともに、採算販売にも注力することで利益確保に努めました。また、キャンペーン等を活用した対面営業活動を推し進め、住設機器の販売やリフォーム受注による収益の確保に取り組んでおります。

上記の通り販売シェア拡大に向け取組んだものの、燃料油・L P ガスが計画した販売数量に届かなかったことから、売上高は342億99百万円（前年同四半期比0.2%増）と横ばいに留まり、セグメント利益（営業利益）は、資材・部材等の価格高騰による経費の増加や人件費の上昇等により、4億47百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、季節商材の販売を拡大するとともに、話題作コミックや売れ筋商品の展開を強化することで売上確保に努めました。一方で、売上の低迷していたレンタル・セル売り場を縮小し、ブックスミスミ日向店ではフィギュア・トレカ等の買取・販売を行う「駿河屋」を、ブックスミスミ鹿屋店ではネイルサロン「ティーエヌ」をそれぞれ2024年5月にオープンさせるなど、時代のニーズに合わせた売り場づくりを進めることで、お客様への訴求を強化いたしました。また、ブックスミスミ七ツ島店（鹿児島市）を2024年7月末で閉店し、同年12月に駿河屋七ツ島店を新規オープンいたしました。

以上の結果、売上高は57億4百万円（前年同四半期比4.6%増）となりましたが、新規事業の出店準備費用の発生等で経費が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同四半期比47.1%減）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F C において、店舗イメージの刷新を目的とした店舗の改装やロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、新規出店先として2024年4月に熊本県合志市にK F C 合志店、同年11月に鹿児島県鹿屋市にK F C イオン鹿屋店、同年12月に鹿児島市にK F C 中山町店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は52億11百万円（前年同四半期比1.8%増）となりましたが、新規出店費用の発生や既存店舗の改装費用が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は4億20百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて11億87百万円増加し、428億7百万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少する一方、有形固定資産や受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億64百万円増加し、232億67百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が減少する一方、借入金や買掛金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億23百万円増加し、195億40百万円となりました。これは主に、その他投資有価証券評価差額金が減少する一方、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2024年5月13日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,278,755	5,703,005
受取手形、売掛金及び契約資産	6,089,004	6,707,196
商品及び製品	2,979,283	3,326,226
仕掛品	39,563	24,479
原材料及び貯蔵品	16,832	20,484
その他	723,901	718,003
貸倒引当金	△3,426	△3,662
流動資産合計	15,123,914	16,495,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,401,651	5,773,866
土地	11,790,476	11,789,426
その他（純額）	1,547,285	1,631,904
有形固定資産合計	18,739,413	19,195,197
無形固定資産		
のれん	1,233,497	1,100,392
その他	105,544	106,220
無形固定資産合計	1,339,041	1,206,612
投資その他の資産		
その他	6,584,839	6,079,624
貸倒引当金	△167,405	△169,637
投資その他の資産合計	6,417,434	5,909,986
固定資産合計	26,495,889	26,311,796
資産合計	41,619,804	42,807,530
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,013,982	3,942,510
短期借入金	4,985,000	5,020,000
1年内返済予定の長期借入金	3,073,000	3,648,000
未払法人税等	388,080	47,954
賞与引当金	319,130	194,809
その他	1,689,850	1,859,628
流動負債合計	13,469,043	14,712,902
固定負債		
長期借入金	6,366,500	6,814,250
役員退職慰労引当金	806,730	207,497
その他	1,560,097	1,532,431
固定負債合計	8,733,327	8,554,178
負債合計	22,202,371	23,267,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	14,660,387	15,050,564
自己株式	△655,182	△686,569
株主資本合計	17,342,704	17,701,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,661,847	1,442,650
退職給付に係る調整累計額	98,641	81,073
その他の包括利益累計額合計	1,760,489	1,523,724
非支配株主持分	314,238	315,229
純資産合計	19,417,432	19,540,449
負債純資産合計	41,619,804	42,807,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	44,798,256	45,215,920
売上原価	35,623,271	35,859,252
売上総利益	9,174,984	9,356,667
販売費及び一般管理費	8,763,201	9,054,467
営業利益	411,783	302,200
営業外収益		
受取利息	4,249	5,464
受取配当金	67,923	92,630
受取賃貸料	156,162	168,052
その他	254,717	255,757
営業外収益合計	483,053	521,904
営業外費用		
支払利息	58,946	72,677
賃貸費用	34,897	33,886
固定資産除却損	76,600	15,895
その他	15,689	15,296
営業外費用合計	186,134	137,755
経常利益	708,701	686,348
特別利益		
固定資産売却益	3,133	10,631
投資有価証券売却益	—	175,253
特別利益合計	3,133	185,884
特別損失		
固定資産売却損	—	60
減損損失	—	45,497
特別損失合計	—	45,558
税金等調整前四半期純利益	711,834	826,675
法人税、住民税及び事業税	191,520	65,362
法人税等調整額	115,018	81,368
法人税等合計	306,538	146,731
四半期純利益	405,295	679,943
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,723	2,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	408,018	676,951

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
四半期純利益	405,295	679,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	542,702	△219,197
退職給付に係る調整額	△19,544	△17,695
その他の包括利益合計	523,158	△236,892
四半期包括利益	928,454	443,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	931,460	440,186
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,006	2,864

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	
(会計方針の変更)	
(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)	
「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。	

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,225,586	5,451,686	5,120,984	44,798,256	—	44,798,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,094	65,043	—	79,137	△79,137	—
計	34,239,680	5,516,729	5,120,984	44,877,394	△79,137	44,798,256
セグメント利益	482,705	119,742	428,289	1,030,736	△618,953	411,783

(注) 1 セグメント利益の調整額△618,953千円には、セグメント間取引消去2,349千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△621,302千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,299,706	5,704,465	5,211,747	45,215,920	—	45,215,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,331	60,298	—	73,629	△73,629	—
計	34,313,038	5,764,763	5,211,747	45,289,549	△73,629	45,215,920
セグメント利益	447,384	63,297	420,293	930,974	△628,774	302,200

(注) 1 セグメント利益の調整額△628,774千円には、セグメント間取引消去1,870千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△630,645千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー」セグメントにおいて9,957千円、「ライフスタイル」セグメントにおいて35,540千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	621,534千円	616,682千円
のれんの償却額	145,062 "	137,955 "